

くまもと市議会だより

いちよう

トピックス

台風15号による災害復旧に要する 補正予算を可決

→詳しくは2ページをご覧ください

平成27年

12月

vol.17



表紙写真「もう乗車しましたか ～COCORO 1周年～」

熊本市を走る路面電車COCOROが、1周年を迎えました。
水戸岡鋭治氏デザインによるスタイリッシュな車両に乗って、
熊本市の魅力を再発見してはいかがでしょうか。

<http://www.kumamoto-shigikai.jp/> 熊本市議会 検索 <http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai> 熊本市議会公式 facebook 検索

第3回定例会の概要 9/7～10/2 会期 26日間

- 9月7日 開会
 - ・提案理由説明
- 9月9日～11日 14日～15日 本会議
 - ・一般質問(5日間)
- 9月16日～18日 予算決算委員会
 - ・補正予算、決算概要説明
 - ・総括質疑(2日間)
- 9月24・25日 予算決算委員会分科会 部門別常任委員会
- 9月30日 本会議
 - ・追加議案の提案理由説明
- 9月30日 予算決算委員会
 - ・分科会長報告
 - ・締めくくり質疑
 - ・表決
- 10月2日 閉会
 - ・委員長報告
 - ・質疑、討論、表決

提出議案と議決結果			
市長提出議案	84 件…原案どおり可決	84 件	
議員提出議案	6 件…原案どおり可決	2 件	否決 4 件
請願	4 件…不採択		
合計	94 件		



一般質問

第3回定例会では、9人の議員が質問を行いました。主な質問内容は次のとおりです。

公明党



園川 良二議員

質問 1 浸水対策にかかる全市的な計画について

住宅街や商店街で頻りに発生する都市型水害に対し、全市的な浸水被害対策計画が必要ではないか。

答弁 計画的な浸水解消対策事業の推進を図り、安全安心なまちづくりの実現に向けて、より一層の治水対策に努める。



質問 2 植木土地区画整理事業について

北区役所周辺と現在進行中の土地区画整理事業地区とを結びつけることが最も重要であり、事業の継続が必要である。

答弁 未着手地区については、住民意向調査や関係部署と協議等を行い、都市計画決定区域や整備手法の見直しも含め方向性を検討していく。

自民党



倉重 徹議員

質問 1 花畑町別館の在り方について

長年にわたり論議されてきた花畑町別館の耐震性の検討状況と今後の方向性についてお伺いする。

答弁 耐震補強では建物の構造等に課題があり、除去の方向とする。跡地利用や整備手法、建物の文化的価値への対応を検討していく。

質問 2 動物愛護について

収容頭数そのものを減らす取り組みとして、保護犬を救助犬・介助犬として教育する事を提案する。

答弁 救助犬は、人命救助の大切な手段の一つとして認識しており、救助犬育成の仕組みづくりを、関係団体と連携し検討していきたい。



市民連合



西岡 誠也議員

質問 1 市電値上げに伴うサービスの向上について

朝の積み残し対策、JRRの終電に併せた運行、ビール電車の増便などサービスの向上が必要。そのための増員も。

答弁 採算性等を勘案しながら実施の可否等を検討するとともに、職員体制のあり方についても様々な角度から早急に検討したい。



質問 2 少子化社会対策大綱を受けての本市の対策は

結婚、妊娠、出産、子育ての支援のほか、若年層の経済基盤安定のため、正社員化の促進や処遇改善策は。

答弁 地場企業の振興や創業支援、企業誘致等による若者の雇用の場の確保をさらに推進し、若者世代が住みやすい環境の確保に努める。

くまもと創生



田中 敦朗議員

質問 1 自治会長の担い手不足について

自治会長の担い手が少なくなっている。各区において、まちづくりの担い手育成や発掘を行うべきではないか。

答弁 地域コミュニティ活動の活性化、地域課題解決への取り組みなど、住民自治を積極的に支援することで自治会長の担い手不足の解消を図る。



(ワークショップの様子)

質問 2 分煙社会の実現に向けて

非喫煙者及び喫煙者が快適に過ごせる分煙社会の確立が必要。分煙環境の整備推進などを行う考えはないか。

答弁 庁内の連携を図り、「健康くまもと21」関係団体や様々な分野の企業、市民と協働で、その対策や環境づくりに取り組んでいく。

善進会



田尻 善裕議員

質問 1 地域コミュニティの分断について

小学校区と行政区が一致していないため地域コミュニティが分断されている。市の現状把握および対応策は。

答弁 一致していない地域が2か所ある。行政区の変更は、影響が大きく慎重にすべき。変更する際の手続きのルール化の検討を始めたい。

質問 2 就学援助費について

経済的理由で就学困難な家庭へ支給する入学準備金。本来の趣旨に鑑み、必要な時に前倒しで支給できないか。

答弁 前倒し支給を行う場合、課題も多くあるが、他都市の実施状況や制度の趣旨を考慮し、導入に向けて検討していきたい。



なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

地域創世



小池 洋恵議員

質問 1 地域防災の在り方について

地域防災訓練にDIG(※1)およびHUG(※2)を導入するとともに、誰もが認識できる避難経路の工夫を。

答弁 地域版ハザードマップ作成過程でDIGの要素を取り入れており、避難経路を含めわかりやすいマップ作成に努める。HUGは避難訓練に併せて検討。



質問 2 河川敷の有効利用について

坪井川遊水地などの河川敷を地域単位で管理し、花畑や農園として有効活用を進めたらどうか。

答弁 地域の実情に応じた利活用に有効な河川協力団体制度の周知を行い、活用に向け取り組んでいく。

公明党



井本 正広議員

質問 1 若者の所得を増やすには

行政、労働団体及び経済団体の政労使三者が一体となって知恵を出しあう「熊本市版政労使会議」を設置してはどうか。

答弁 労働局では、労働審議会や最低賃金審議会が開催されており、労働局・県とも連携しながら、若者世代の雇用の質の向上に取り組む。

質問 2 投票率向上の取り組みについて

全ての有権者が投票できる期日前投票所の設置について、その後の協議状況はどうか。

答弁 来春予定の県知事選挙から設置する。場所は市役所及びその付近に設置の方向で、市・区選管ならびに関係各課で協議を進めている。



自民党



光永 邦保議員

質問 1 縦割りの組織を越えた市の観光資源の開発

公園整備、教育、未来型乗物など将来の観光資源開発のために縦割りの組織を越えて取り組んでいるものがあるか。

答弁 夏目漱石ゆかりの草枕の道整備や水前寺江津湖公園でのイベント等、複数の部局と横断的な連携を進めながら事業展開を図っている。

質問 2 市長として自衛官募集に取り組む姿勢は

自衛官募集が厳しい情勢下、その受託事務にどのような姿勢で臨むのか。また、入隊激励会への参加意志はあるか。

答弁 今後も、自衛隊熊本地方協力本部などとの連携を図りながら、隊員の募集に取り組む。入隊激励会等に出席ができるよう努める。



市民連合



大塚 信弥議員

質問 1 本市における子育て問題について

子育て世代の定住促進に力を入れていく必要がある。今後、本市での子育てに対するメリットをどう打ち出すのか。

答弁 指定都市としての権限やスケールメリットを生かし、多面的な支援策の拡充を行い、都市圏全体の子育て支援、定住促進を図っていく。



質問 2 市東部方面における交通問題について

熊本市東部の慢性的な交通渋滞をどのように受け止めているか。特に東部方面における渋滞対策は。

答弁 交流拠点都市として発展していくための重要課題と認識。東部方面の渋滞対策としては都市計画道路整備のあり方について検討する。



DIG(※1) …災害图上訓練の手法であり、災害(Disaster)のD、想像力(Imagination)のI、ゲーム(Game)のGの略で「ディグ」と読む。地図を用いて地域で大災害が発生する事態を想定し、避難経路等を住民間で共有すること。

HUG(※2) …避難所運営ゲームのことであり、避難所(H)、運営(U)、ゲーム(G)の略で「ハグ」と読む。避難者の年齢や性別、それぞれが抱えた事情に合わせた避難所運営を行うための模擬体験のこと。

主な議案の概要

※このほかの議案などの審議結果は、熊本市議会ホームページをご覧ください。

- **平成27年度熊本市一般会計補正予算を可決**
(主な内容)
● おでかけ乗車券ICカード化関連経費 …1億8,400万円
● 利用者支援専任チーム関連経費 ……………490万円
- **熊本市手数料条例の一部を改正**
熊本市おでかけICカードの交付に伴う手数料を新設する等のため、本市手数料条例の一部改正を行いました。
- **熊本市軌道条例の一部を改正**
普通旅客運賃等の改定及び回数乗車券の廃止等をするため、本市軌道条例の一部改正を行いました。
- **熊本市教育委員会組織条例を制定**
地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第3条ただし書の規定に基づき、熊本市教育委員会の組織について定めるため、本市教育委員会組織条例を制定しました。
- **熊本市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を制定**
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第9条第2項に基づく個人番号の利用及び同法第19条第9号に基づく特定個人情報の提供に必要な事項を定めるため、本市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を制定しました。

トピックス

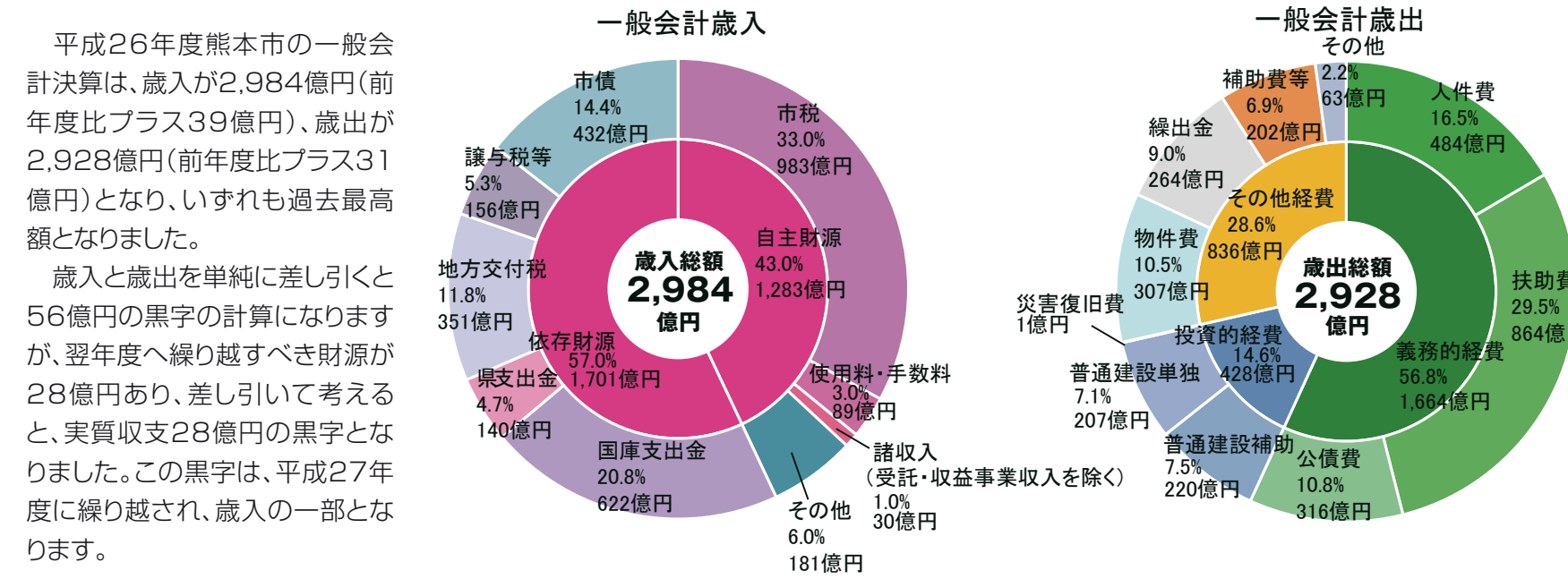
台風15号による災害復旧に要する補正予算を可決

一般会計	15億3,687万8千円
<主な内容>	
● 地域コミュニティセンター9箇所の屋根修繕等経費	……………310万円
● 農業関係施設災害復旧経費	……………2億5,560万円
● 熊本城復旧経費	……………2,330万円
● 公営住宅復旧経費	……………2億3,000万円
● 国・県・市道1,431箇所の倒木処理及び清掃等経費	……………3億3,000万円
● 公園344箇所の倒木処理等経費	……………1億4,090万円
● 小中高等学校施設復旧経費	……………2億7,590万円
特別会計	110万円
● 農業集落排水施設の修繕等経費	……………110万円

平成26年度決算の概要

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
一般会計	2,983億7,607万円	2,927億9,307万円	55億8,300万円
特別会計	1,963億8,453万円	1,966億1,007万円	△2億2,554万円
合 計	4,947億6,060万円	4,894億 314万円	53億5,746万円

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
病院事業会計	149億7,269万円	205億5,470万円	△55億8,201万円
水道事業会計	132億6,623万円	122億4,445万円	10億2,178万円
下水道事業会計	208億8,806万円	206億9,589万円	1億9,217万円
工業用水事業会計	1,000万円	991万円	9万円
交通事業会計	35億2,522万円	27億2,006万円	8億 516万円
企業会計合計	526億6,220万円	562億2,501万円	△35億6,281万円



予算決算委員会の審査概要

全議員参加により平成26年度決算、平成27年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

総括質疑（平成27年9月17日、18日）

自民党

質疑1 予算流用について

平成26年度の予算流用件数と総額は。また、流用の実態を分かりやすく明示すべきではないか。

質疑2 負担金補助及び交付金について

各種団体への運営補助の交付についての可否判断基準は。補助金の交付先は明示すべきではないか。また一部の助成金において二重交付となっていないか。防犯灯取替（LED化）補助については不用額を活用し地域の要望に応えるべきではないか。

質疑3 決算状況に対する市長の所感について

財政健全化判断比率は改善している一方で市債残高と債務負担行為額は増加しているが、今後大型施設の整備を含めどのような財政運営を心がけていくのか。

質疑4 人件費の時間外勤務手当について

人件費の抑制については、職員がコスト意識を高めることによって事務業務のミスや不祥事の発生を防ぎ、時間外勤務に波及しないよう努めること。

質疑5 団体への補助金について

補助金交付額の変動幅については、変化の見受けられない団体が9割を占める。交付先の団体活動の形骸化防止のためにも事業費補助の更なる精査を行い団体活動の活性化を促すこと。

質疑6 業務委託について

業務委託を選定する際の随意契約等の事務については、ガイドラインに沿いながら、市が公開する仕様書の積算根拠から契約理由まで限らない透明性の確保に努めること。

質疑7 一般会計決算状況について

少子高齢化が進展する中、本市の財政は硬直化の傾向にある。持続可能な行政サービスを提供するためには、独自に自主財源の確保や更なる事業の選択と集中に努めると共に公正公平な受益者負担の在り方について検証を進めてもらいたい。

質疑8 国民健康保険事業について

赤字解消に向け、がん検診をはじめ特定検診の受診率向上のため、メニューの充実等、予防医学の推進を図り医療費の適正化に努めること。

質疑9 交通安全推進事業について

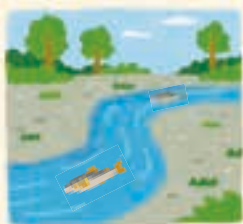
高齢者の交通事故が増加傾向にあるので、地域や関係機関との連携を深め、防止対策について取り組んでもらいたい。



市民連合

質疑1 魚介類の種苗放流について

白川でアユ放流の時期はいつか。



質疑2 地域スポーツ活動について

白川レガッタを民間団体が計画したことがある。開催されなかったのは北口和皇議員がアユの遡上に影響するから反対したためと聞いた。放流の時期は違う。本当に影響するのか。

質疑3 境界立会業務について

局長自ら境界立会に出向いたのは、北口議員が不当に要求したからではないか。

質疑4 農業生産基盤整備について

画図地区の水路工事等は北口議員が了解せず中止とした。工事予算を議決した議会の軽視でもあり、毅然とした対応をとるべきだ。市長の見解を求める。

質疑5 白川の治水について

立野ダムは時間がかかり、問題点も多い。鬼怒川の堤防決壊の例もある。ダムより堤防強化や河川拡幅を優先すべきだ。

質疑6 教育相談等事業について

いじめや不登校等の対策として、年度内のスクールソーシャルワーカーの増員や先駆的な取り組み等を行うべきだ。

質疑7 学校安全推進事業について

子どもたちを交通事故や犯罪等から守るためには、学校のみならず保護者や地域等との連携が重要である。

公明党

質疑1 決算における歳入について

熊本市は主財源比率が政令市中最下位であり自主財源の確保が重要である。しかし平成27年2月に公表された市の中期財政見通しでは、経済情勢の変化が考慮されていない。経済情勢を加味した中期見通しのシミュレーションを示し、市民や議会に対してより現実的な本市の将来財政の見通しを示す事を求める。

質疑2 交通事業について

- 「経営健全化計画」のもと、バス事業を都市バスへ移譲し、経営改善に努めたことに敬意を表す。
- 基幹バスの推進などを求める。
- 市電の延伸や基幹交通としてのサービス向上を求めるとともに、経営基盤の改善を進めてもらいたい。



くまもと未来

質疑1 債務負担行為に基づく契約等について

- 債務負担行為残額が平成26年度末に637億円と倍増しているが、その主な要因は。また現状をどのように認識しているか。
- 指定管理者の経営努力によって収益増が見込まれる施設については、それをサービスの充実に充てられるような仕組みが必要ではないか。

質疑2 決算関係資料について

市政の現状を知ってもらう絶好の機会と捉え、積極的に市民にとっても分かりやすい資料作成を。

共産党

質疑1 桜町再開発450億円の税金投入、情報公開と説明責任を果たすべき

民間施工の桜町再開発は、総事業費700億円の6割以上434億円を税金で負担するもの。徹底した情報公開と説明責任を果たすべき。



質疑2 学校施設等への維持修繕経費の拡充について

小中学校から多岐にわたる修繕要望があげられている。予算を増額し、危険箇所の改善等、安全な教育環境の整備に取り組むべき。

くまもと創生

質疑1 決算状況における財政課題について

財政基盤が弱く硬直化している本市財政の課題解消とともに、臨時財政対策債（※3）を含めた市債全体での抑制に取り組むことで、次世代先送り型の財政構造を早急に改善すべき。

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページをご覧ください。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●防災対策について

河川の氾濫を未然に防止するため、堤防等の巡視を行うなど、危険箇所の早期発見に努めるとともに、関係機関との連携強化による迅速な対応を求めたい。

●市のホームページについて

ホームページにおける市政情報の提供については、更新の遅れが多く見受けられることから、今後、管理を徹底し、正確な情報提供に努めてもらいたい。



教育市民

●学校給食の食物アレルギー対応について

事故防止の徹底を図るため、学校側にのみ対応を求めるのではなく、代替食の持参を求めるなど、家庭や関係機関と連携した取り組みを求めたい。



●熊本博物館リニューアルについて

館内に新設する県市連携協力による展示スペースについては、議会に対して、費用負担等を含めた県市の協議状況を逐次報告するなど、さらに丁寧な説明を求めたい。

厚生

●病院会計の未収金処理について

消滅時効等で収納不能となった未収金については、早急に不納欠損等の処理を行うとともに、案件ごとに内容を精査し、適切な対応に努めてもらいたい。

●おでかけパス券の廃止について

おでかけ乗車券のICカード化に伴うおでかけパス券の廃止に向けては、十分な説明を行い、導入後の実態調査に応じて支援策を講じるなど、サービスの低下を招かぬよう万全を期してもらいたい。



環境水道

●ごみ収集事業について

市直営によるごみ収集体制を一部維持する必要性は認めるものの、行財政改革を推進するためには、収集コストの抑制につながる民間委託をさらに進めてもらいたい。



●地球温暖化防止推進事業

温室効果ガスが年々増加傾向にあることから、温暖化対策に関する市民の意識啓発に努めるとともに、削減に向けた取り組みを強化してもらいたい。

経済

●桜の馬場城彩苑整備事業

桜の馬場城彩苑が整備されたことによる、中心市街地への回遊性の向上や地域経済への貢献度などの調査・検証を行ってもらいたい。

●農作物への有害鳥獣対策について

有害鳥獣の捕獲数が増加することにより、被害の減少が期待できることから、捕獲単価報酬を上げるなど、条件整備の見直しを検討してもらいたい。



都市整備

●公共交通ネットワークの充実事業

市電は、市民の利用状況からも、本市の公共交通における役割は大きいと考えられるので、延伸も含め、市電の活性化を基軸とした公共交通ネットワークの充実を図ってもらいたい。



●都市景観形成事業

夜の景観づくりとして、街路灯や防犯灯の照度や色調について検証を行い、城下町にふさわしい「灯り」による魅力づくりを求めたい。

締めくくり質疑 (平成27年9月30日)

平成27年度熊本市一般会計補正予算

- 「おでかけ乗車券」のICカード化に合わせ、性急に「おでかけパス券」を廃止する必要性は理解しがたく、今後、利用者等の意見に十分耳を傾け、存続を含めた検証を行うとともに、障がい者の受益者負担の廃止を検討してもらいたい。
- 多子世帯を対象とした本市独自の保育料軽減策は、少子化対策及び本市への移住促進策として有効であることから、市内外への周知・広報に努めてもらいたい。

台風15号災害に伴う農業分野への支援

- 追加提案された補正予算は、現時点で把握できた農産物等の被害状況から積算したものであり、今後の調査等により新たな被害が見つかった場合、所要額を追加計上するなど、農業者等への積極的な支援を求めたい。
- 災害に強い農家づくり支援として、国の耐候性ハウス整備補助制度を活用する際は、市としての上乗せ補助を求めたい。

熊本市軌道条例の一部改正

- 市電は公共交通機能に加え、環境・観光・まちづくりなど本市における多面的役割を担っていることから、一般会計からの支援拡充による経営安定化を図り、運賃値上げを撤回してもらいたい。

平成26年度熊本市各会計（公営企業会計を除く。）決算

- 本市における少子化要因を把握し、年齢や所得などの生活環境の違いに対応した支援など継続した取り組みを求めたい。
- 学生、法人、各種団体等を対象とした講習会や意見交換会などを継続的に実施するなど、少子化に対する情報提供・意識啓発に努めてもらいたい。
- 本市の切迫した課題である待機児童の早期解消に向け、鋭意努力してもらいたい。
- 企業誘致については、正規雇用の確保や幅広い業種の企業に対する取り組みを求めたい。
- 滞在型観光客の誘引に向け、歴史的文化的観光資源の掘り起こしとストーリー性を持たせた観光ルートの創設を求めたい。

おしえて
ひごまる



臨時財政対策債(※3) …地方一般財源の不足を補うために特例として発行が認められた地方債のこと。
必要に応じて地方自治体が発行し、償還費用は全額国が負担する。

平成27年第3回定例会提出議案の主な議決結果

議案番号	件名	会派別賛否											議決結果	
		自民党	市民連合	公明党	くまもと未来	共産党	くまもと創生	市政クラブ	日本教育	自由クラブ	善進会	地域創世		和の会
議第181号	平成27年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決
議第186号	熊本市教育委員会組織条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決
議第187号	熊本市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決
議第194号	熊本市軌道条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決
議第246号	平成26年度熊本市各会計(公営企業会計を除く。)決算について	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	認定
議第253号	熊本市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決

※このほかの議案などの審議結果は、熊本市議会ホームページをご覧ください。

可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第3回定例会では、2件の意見書が全会一致で可決されました。

発議 第22号	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書について
発議 第23号	ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書について

ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

- ICT環境の充実には、Wi-Fi環境の整備が不可欠であることから、活用可能な補助金や交付金を拡充し、公衆無線LAN環境の整備促進を図ること。
- 平成27年度からスタートしたテレワーク関連の税制優遇措置の周知徹底を図るとともに、制度を一層充実させ、拠点整備や雇用促進につながる施策を行うこと。
- テレワークを活用して新たなワークスタイルを実現した企業を顕彰するとともに、セミナーの開催などテレワーク普及啓発策を推進すること。

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

- 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」と各府省の地方創生関連事業・補助金、さらには新型交付金の役割分担を明確にするとともに、必要な財源を確保すること。
- 平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費(1兆円)」については、地方創生に係る各自治体の取り組みのベースとなるものであることから、恒久財源を確保の上、5年間は継続すること。
- 平成28年度に創設される新型交付金については、平成26年度補正予算に盛り込まれた「地方創生先行型交付金」以上の額を確保するとともに、その活用については、例えば人件費やハード事業等にも活用できるなど、地方にとって使い勝手の良いものにする。
- 新型交付金事業に係る地元負担が生じる場合は、各自治体の財政力などを勘案の上、適切な地方財政措置を講じるなど、意欲のある自治体が参加できるよう配慮すること。

議員の不当要求行為に関する議会の対応

熊本市食肉センター廃止に伴う豚と畜機能移転に関連し、平成27年3月に肉豚委託販売契約調印式が行われたが、同席した北口和皇議員から市職員や出席者に対する不当要求行為等と思われるような言動があり、調印ができなかったため、この調印式問題について議会としての対応を求める陳情が行われた。

これを受け議会は、この調印式問題について市が設置する熊本市不当要求行為等防止対策会議で調査するよう市長に要請を行った。

- ▶ そこで市は、この調印式における北口議員の言動を、熊本市不当要求行為等防止対策会議設置要綱に照らし、事務事業に対する不当要求行為ではなかったかの調査を行った。
- ▶ 熊本市不当要求行為等防止対策会議からは、第3回定例会会期中の議会運営委員会において、「調印式における北口議員の言動は、不当要求行為に相当すると結論付けた」との調査報告がなされた。
- ▶ この報告を受け、11月4日開催の議会運営委員会において、北口議員が調印式における自身の言動は、「暴力行為等社会常識を逸脱した手段により要求の実現を図ろうとする行為」、「乱暴な言動、又は無言の圧力等により職員に身体、精神等への不安を抱かせる行為」及び「正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により、行政執行を妨げる行為」であったことを認め謝罪がなされた。議会の対応は、今後速やかに検討することとした。

中学生による子ども議会

平成27年8月7日、19回目となる子ども議会が開催され、52名の子ども議員から中学生ならではのユニークな質問や提案がありました。



1
班



これからの熊本市と投票率向上について

質問 1

将来のまちづくり計画のワークショップに、中学生は参加しにくい。中学生が意見を言える場を作ってもらいたい。

答弁

中学生同士が将来の熊本市のことを大いに語り合えるよう、今後、職員が学校に出向き意見交換を行うワークショップを開催していきたい。

質問 2

選挙権年齢が18歳以上まで引き下げられた。今後、多くの若い世代に投票してもらうためにどのように取り組む予定か。

答弁

利便性が高い市役所本庁付近に全ての区の期日前投票所を増設する準備をしている。また、中高校生を対象とした出前授業の更なる実施に努める。

2
班



自転車の安全な利用とスマートフォンの課題について

質問 1

自転車のルールが守られていない。交通ルールを守るため、クイズ形式のテストを小中学校で行ってはどうか。

答弁

交通ルールの遵守と交通マナーの向上は大変重要。交通ルールのテストは良いアイデアなので、来年度の1学期の実施に向けて取り組む。

質問 2

「きずな」アンケートにSNS(※4)に関する質問を加えてはどうか。また、もっと気軽に相談できるように検討できないか。

答弁

提案については、今後、校長会等で、学校のアンケート項目に追加するように働きかける。また、身近な相談機関について周知の仕方を工夫する。

3
班



障がいのある人が暮らしやすいまちと当番医の充実について

質問 1

障がいのある人が暮らしやすいように、障がいのある人の意見を取り入れる機会や理解を深める機会を充実してほしい。

答弁

これまで、障がい者プランの策定など意見を聞く機会を設けてきた。今後も、障がいに対する相互理解が進むための取り組みに努める。

質問 2

病気になった時、すぐに病院に行けるよう、休日当番医の充実のため、当番医のローテーション制度を取り入れてはどうか。

答弁

当番医のローテーション制度は良いアイデアだが、拡充は難しい。本市の充実した医療体制を将来にわたって維持していくため、皆様のご協力をお願いしたい。

4
班



地下水の保全とポイ捨て禁止の啓発について

質問 1

熊本市の地下水を知ってもらうため、「くまもと水検定」の認知度を高める取り組みができないか。地下水保全の取り組みは。

答弁

学校での効果的な周知に努め、公共交通機関での周知も実施に向けて検討する。また、「節水218運動」や地下水を育むための森林整備等、地下水保全に取り組む。

質問 2

「ポイ捨て禁止条例」の周知と、外出時に自分のゴミを持ち帰るための「ごみバッグ」を持つようにしたらどうか。

答弁

小中学校での出前講座やインターネットも活用し、「ポイ捨て禁止条例」を周知する。「ごみバッグ」はよい提案。今後も、快適な都市環境の推進に努める。

5
班



外国人観光客受け入れと農業後継者不足問題について

質問 1

外国人観光客向けに、公共交通機関へのWi-Fi設置、夜のイベント、食事クーポン券「まうごつつまか券」の発行などできないか。

答弁

無料Wi-Fi環境の充実や夜のイベントの充実に努める。食べ歩きクーポン券「まうごつつまか券」はネーミングを含め素晴らしい。早速、具体的に検討する。

質問 2

農業後継者不足解消のため、子どもたちの農業体験や農産物のブランド化など、熊本市の農業の魅力向上ができないか。

答弁

農業の魅力向上は重要であり、6次産業化、大都市圏や海外への販路拡大、インターネット販売等により、今後も農作物のブランド化に取り組む。

6
班



通学路の安全性向上と公共交通機関の利用促進について

質問 1

環境にも配慮した照明灯の設置、わかりやすい路面表示などできないか。また、中学校の通学路でも安全点検をお願いしたい。

答弁

中学校の通学路の安全確保については、関係機関や保護者を交え検討するとともに、引き続き路肩のカラー舗装等に取り組む。また、照明灯等のLED化を進め、環境負荷の軽減に取り組む。

質問 2

公共交通機関の利用促進のため、ICカードを使用できる場所を増やすなど、普及に向けた取り組みができないか。

答弁

民間交通事業者等と連携・協力し、利便性の高い利用環境をしっかりと整え、交通系ICカードの普及促進に取り組む。



SNS(※4) …個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。

視察レポート

市議会では、委員会が所管の課題に対し審査や調査を行うため、他の自治体等の先進的な事業について行政視察を行っています。

総務委員会 平成27年8月10日(月)から12日(水)

【東大阪市】

- 債権管理条例
条例の概要及び取り組みの体制・効果・課題

【人と防災未来センター(神戸市)】

- 人と防災未来センター
施設の概要、設置目的等の説明及び見学

【広島市】

- 安佐北区・安佐南区の土砂災害
災害時の気象及び被災状況や応急対策、災害の検証及び対策



東大阪市：調査項目の説明

環境水道委員会 平成27年8月17日(月)から19日(水)

【北広島市】

- 下水汚泥の利活用
バイオマス(※5)利活用施設整備事業
北広島市下水処理センターについて

【北海道豊頃町】

- バイオディーゼル(※6)燃料の製造
燃料の製造過程、活用状況、課題等

【帯広市】

- 帯広の森 はぐくむの概要



北広島市：下水処理センター

教育市民委員会 平成27年7月29日(水)から31日(金)

【札幌市】

- まちづくりセンター・ワークライフバランス
取り組み企業応援事業
概要、成果と課題など

【釧路市】

- コミュニティスクール
制度概要、制度導入の経緯
- 子どもたちの健全育成のための域校連携共同宣言
共同宣言の目的及び共同宣言調印までの経緯、学校・地域の役割



釧路市：調査項目の説明

経済委員会 平成27年7月28日(火)から30日(木)

【相模原市】

- 「アートラボはしもと」の概要、経緯

【八王子市】

- 「道の駅 滝山」の管理運営、課題など

【川越市】

- 伝統的建造物群保存地区保存整備事業
ロケーション整備の取り組み状況
観光PR手法(マスコミ活用、雑誌掲載等)、経済効果など



相模原市：アートラボはしもと

厚生委員会 平成27年7月27日(月)から29日(水)

【横浜市】

- 待機児童対策
横浜市の待機児童の現状、待機児童解消に向けた取り組み

【仙台市】

- 介護予防自主グループ支援事業
事業導入の経緯、支援内容、
自主グループの活動状況



横浜市：調査項目の説明

都市整備委員会 平成27年8月18日(火)から20日(木)

【世田谷区】

- 空き家対策
空き家等地域貢献活用モデル事業及び
相談窓口

【金沢市】

- 新都市計画マスタープラン
金沢市の都市づくり、交通政策(バス・自動車・自転車)、
中心市街地の活性化



世田谷区：調査項目の説明



バイオマス(※5)

…生物体量または生物量ともいう。ある時点で任意の空間内に存在する特定の生物群の量を、重量やエネルギー量で表したものを。

バイオディーゼル(※6) …植物性の食用廃油を燃料とするディーゼルエンジン。

市議会からのお知らせ

★傍聴にいらっしゃいませんか

本会議…どなたでも自由に傍聴することができます。

- ・傍聴希望の方は、本会議の開催される日に議会棟5階の受付にお越しください。
- ・手話通訳を希望される方は、傍聴希望日の1週間前までに下記の議会事務局までご連絡ください。

委員会…委員会室外に設けられたモニターテレビを通じて、どなたでも自由に傍聴(視聴)することができます。

★インターネット中継をしています

定例会、臨時会の本会議ならびに予算決算委員会は市議会ホームページで生中継・録画中継を行っています。

★会議録の閲覧ができます

平成3年以降の定例会・臨時会会議録及び平成15年5月以降の各委員会会議録を市議会ホームページに掲載しています。それより以前の分については、議会図書室等で閲覧することができます。

次の定例会は



11月27日(金)開会

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

熊本市議会

検索

年末にあたり

公職選挙法の規定により、議員が年賀状などのあいさつ状を出すことは制限されておりますことから、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。皆さまにはご理解いただきますようお願い申し上げます。

※次のような事項につきまして、公職選挙法で禁止されています。

議員の寄付禁止

- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典 ●地域の行事(祭り等)への寄付(御樽)や差し入れ ●葬式の花輪、供花 ●病気見舞い ●入学、卒業祝い ●お中元やお歳暮

時候の挨拶状の禁止

答礼のための自筆によるものを除き、議員が年賀状や寒中見舞いなど時候のあいさつ状を出すこと。



編集後記



議会広報委員会(10名) / 井本正広委員長、紫垣正仁副委員長、大塚信弥委員、山部洋史委員、三森至加委員、光永邦保委員、小佐井賀瑞宜委員、福永洋一委員、澤田昌作委員、白河部貞志委員

議会、議員は行政よりも市民に近い存在のはず。「市政だより」よりも「身近な市議会だより」を目指しています。

ご意見、ご感想をどしどしお寄せ下さい。

紫垣正仁 議会広報副委員長

発行/熊本市議会
編集・文責/熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL. 096-328-2684(議会事務局調査課)
FAX. 096-324-3284 第017号

電子メール E-mail gikaichousa@city.kumamoto.lg.jp